

F-11 都市雇用家族夫婦の役割構造  
お茶の水女大家政 湯沢雅考 ○丸山直子

目的 現代夫婦の役割構造をとらえるため、新たに作製した「夫婦役割テスト」を用いて調査を行い、夫と妻の期待の強さ、分業性、対等性などについて検討した。妻が無職の夫婦と、妻が職業をもつ夫婦とに分け、さらに年齢階層別、家族構成別による役割構造の差異を比較した。

方法 調査対象として、現代の一般的夫婦を都市中間層雇用者家族という条件にし、ほり、1住宅地域で妻が無職の夫婦の組、保育所、事業所を通して妻が有職の夫婦の組について「夫婦役割テスト」を配布自記式方法により採集した。

結果 役割期待について示された主な点をあげると、1)全体を通じて夫妻ともに役割期待が高く、夫と妻を比べると平均期待値では夫の妻に対する期待の方がやや高い。2)役割項目を領域別にまとめると、妻無職の夫婦では、家庭管理と家事労働の領域で夫と妻の期待が開き、従来の伝統的役割構造にみられた夫婦分業性がやはり示されたが、妻有職の夫婦では、期待が平均化され、分業性が弱くなっている。3)交際と夫婦協調の領域では、妻有職、妻無職ともに夫婦の期待値が接近し、対等性が高い。4)年齢階層別では、夫の側に年齢による差が多く、若年層より中年以上の層で妻に対する期待が強いことを示した。妻有職の夫では、特に家庭管理の領域で妻への期待が高いことから妻の権威が高いことを推測させる。5)家族構成別では、拡大家族に特に親類交際の期待が高いこと、家事労働について妻の夫に対する期待が低いことが示された。